



公益社団法人 誕生学協会 東日本大震災母子支援事業

「みらいのふるさと子どもチャリティ切手」プロジェクト

「未来のおとな育て」こどもチャリティポストカードプロジェクト (気仙沼モデル)のご案内

★ 「みらいのふるさと子どもチャリティ切手」プロジェクト

～自分たちの手で未来を創る支援型プロジェクト

この切手プロジェクトでは、気仙沼市在住の被災したこどもたちを対象に、2011年8月の夏休みに自由参加のイラストコンクールを開催し、未来のふるさとの絵やイラストを描いてもらいました。子ども達には全員、自分の描いた絵を切手にしてプレゼントするプロジェクトです。また、入賞作品を「子どもチャリティポストカード」に加工し、その売り上げはすべて気仙沼市の教育委員会などに直接寄付をしていきます。ふるさとの復興支援金を子どもたちのアートで創りだしていく自立支援プロジェクトです。

★ 「こんな未来のふるさとにしたいな」を描く機会を～応募総数 1181 枚！



「気仙沼市・こども切手原画&イラストコンクール」は、気仙沼市内の公立学校に通う小学生から高校生を対象にし、各校に画用紙と申し込みちらしを配布。応募くださった全員のこどもたちに、自分の描いた絵を切手シート（80円切手10枚綴り）にして参加賞として差し上げます。今回のプロジェクトでは、地元の気仙沼市教育委員会様にもご協力を頂き、夏休み前の図工の授業に取り入れてくださった学校もありました。また児童館などにもご協力いただき、画用紙やちらしの配布をお願いしました。応募総数は、なんと 1181 枚。小学校 20 校から 1073 枚、中学校 8 校から 102 枚、



高校 2 校から 5 枚の応募を頂きました。この数はおおよそ 気仙沼市に住む子ども達 6 人に 1 人が応募したことを意味します。

このプロジェクトの様子は、NHK の「おはよう日本」でも取り上げられ、子ども達が実際にイラストを書いている様子などが全国放送されました。この放送をご覧になり、活動にご賛同を頂いた方がたからは、協会の東日本大震災母子支援プロジェクトあてにご寄付も多数頂いておりますが、予想を超える応募枚数のため、まだまだ資金がたりません。気仙沼市の子ども達に希望の切手を届けるため、皆様のご協力をぜひおねがいいたします。

★ 繋がる力を育てる切手プレゼントと直接支援「未来のおとな育て」こどもチャリティポストカードプロジェクトの必要性

このプロジェクトの目的は、自分で描いた絵が切手になり、それを使い、遠くに引っ越したお友達、親戚に手紙を送ることで、子ども達ひとりひとりが「他者と繋がる力」の大切さを実感してもらう機会を創出すること。私たち誕生学が伝えている「いのち」を繋げ

る力を伝えることは、他者と自分を繋げる力も意味します。この活動を通じて、震災を乗り越えた自分のいのちの輝きを、たくさんの周りの人に伝えてもらいたいと、企画されました。

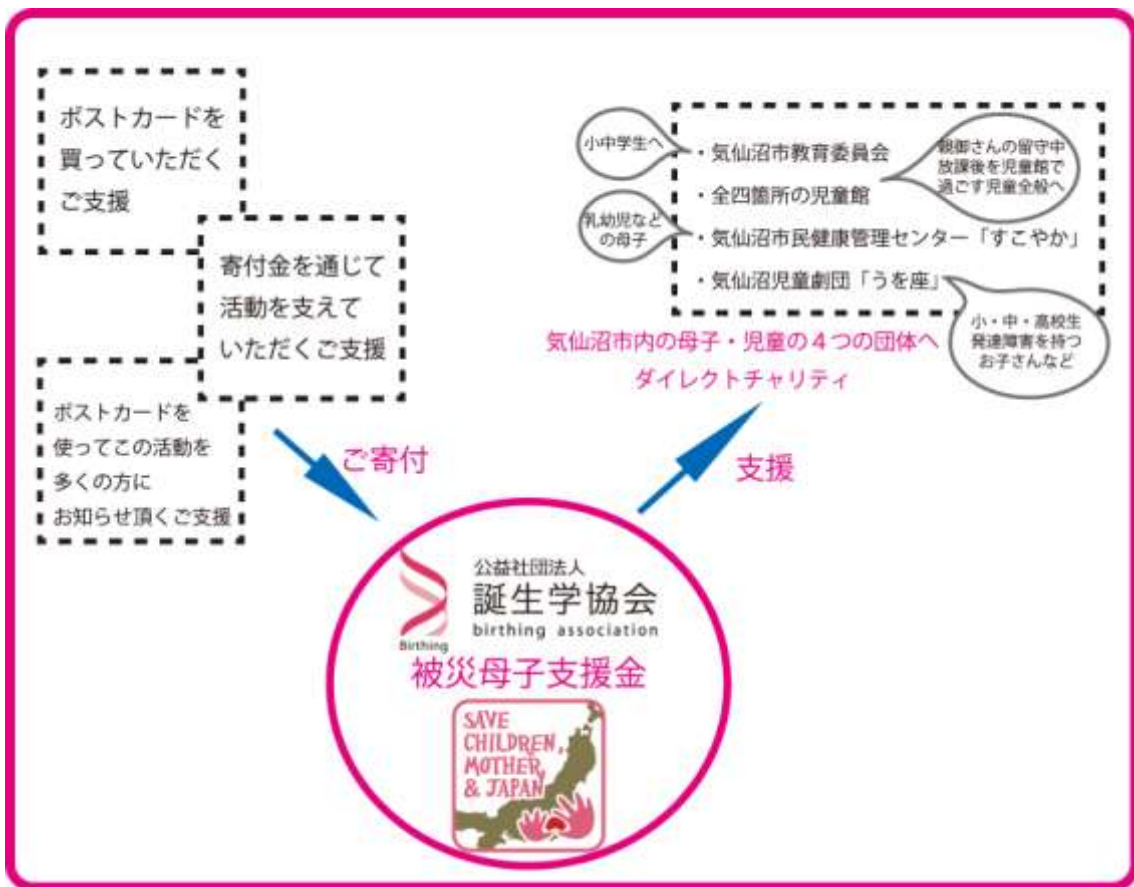
また、当協会の審査委員会で選出された10枚の入賞イラストは「未来の大人育て・子どもチャリティポストカード」として販売。気仙沼在住の子どもによるアートでの自立復興資金の収集、切手やポストカードでつながるご縁を支援に繋げる活動としていきます。

チャリティポストカードの収益は、すべて気仙沼市教育委員会、気仙沼市保健所施設における乳幼児母子支援活動、児童館4館、児童劇団などに直接寄付（ダイレクトチャリティ）し、直接母子と子どもの育成を支援する活動に送られます。

今回の震災の被害地は東北、北関東と広大です。そのすべてをきめ細かくサポートすることは不可能であることは他の大きな団体のこれまでの活動結果からもわかります。私たちは、少しずつでも確実に母子支援サポートを届けるため、気仙沼市という小さな行政単位に絞り活動しています。さらに次年度は、気仙沼市だけでなく、他の都市においても自立支援活動のプログラムとして広げたいという多団体からのリクエストもあり、このプロジェクトプログラムの無償提供を行う予定です。

★復興支援活動「未来の大人育て・子どもチャリティポストカードプロジェクト」は皆様からのご支援に支えられています

このプロジェクトは10年先に大人になる「未来の大人育て」のプロジェクト。
今後、長くかかる復興を、共に、息長く支えていくことが必要です。



ご支援の形はいろいろあります。
皆様の可能な形でお力添えいただける、息の長いご支援をよろしくお願いいたします。

